

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-306654

(43) 公開日 平成7年(1995)11月21日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 9 F 27/00	E			
G 0 9 G 3/00	C	9378-5G		

審査請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平6-130748

(22) 出願日 平成6年(1994)5月10日

(71) 出願人 594098720

▲吉▼田 龍夫

神奈川県津久井郡津久井町根小屋2739-55

(72) 発明者 ▲吉▼田 龍夫

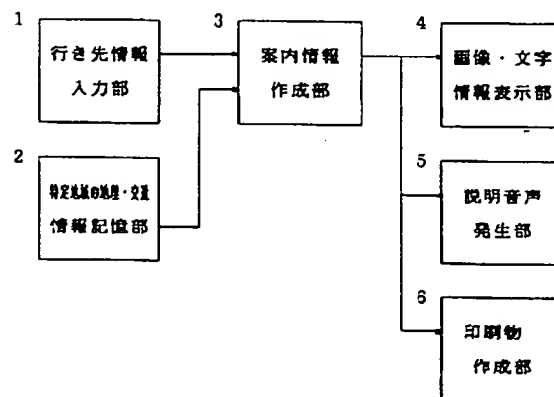
神奈川県津久井郡津久井町根小屋2739-55

(54) 【発明の名称】 公共の場所に設置する行き先案内装置

(57) 【要約】

【目的】 行き先の案内を求める人が、自分の行きたい目的先を住所・電話番号・郵便番号・氏名などで指示すると、計算機がその目的地に至る最適の地理情報、交通情報を検索し、画像、音声、印刷物により案内を求めた人に提供する装置。

【構成】 案内を求める人が目的地の住所情報を入力する入力部と、あらかじめ特定地域の地理情報・交通情報を記憶しておく記憶部からの情報により、目的地に至る最適の行き方を計算機が判断し、画像・音声・印刷物により、目的地への行き方を案内する装置。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】ある特定の場所から、人が行きたい場所までの案内を行なうに、あらかじめ特定の場所周辺の土地、建物、建造物の地理情報を計算機に記憶させておき、案内を求める人が、行きたい場所を住所、郵便番号、電話番号、氏名で計算機に入力指示を行なうと、特定の場所から行きたい場所に至る適切な道路、交通手段を計算機が判断し、その結果を画像・文字・音声で案内することを特徴とする装置

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】この発明は、公共の場所において人が行きたいと思う場所への行き方を案内することに関するものである。

【0002】

【従来の技術】駅などの特定の場所から人が行きたいと思う場所への行き方を知るのに、従来は当該土地の地図を見るか、交番に尋ねるかの方法が一般的であった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】地図を見る方法では、行きたい場所に至る適切な道路・交通手段を見付けるのが容易でなく、行きたい場所を押しボタンで指示し地図上の該当する場所にランプが点灯する方式の従来型案内盤では、押しボタン、ランプの数が制限される為案内先の場所は数少ない特定の場所しか設定出来ない不便さがあった。交番に尋ねる方法では、目的地までが遠い場合などは一度行き先を聞いても、目的地に至るまでに再び行き方が判らなくなるなどの不便さがあった。

【0004】

【課題を解決する為の手段】本発明の装置を設置する特定場所の周辺の地図・交通情報を予め計算機に記させ、案内を求める人が行きたい場所を、住所・郵便番号・電話番号・氏名などの情報で計算機に指示すると、計算機は当該装置が設置されている場所から人が行きたい場所に至る最適の道路・交通手段を判断し、画像・文字・音声により案内情報を求めた人に知らせるものである。特定場所から行きたい場所に至る情報は、必要な交通手段と共にその場所に至る道路を地図上で明示し、音声合成による音声でも説明を行うものである。その情報は印刷して案内を求めた人に渡すことも容易に可能なため、案内を求める人は、目的地に到着するまで、常に手元に必

要な案内図を所持することも可能となり、少し離れた場所へ案内された場合でも、容易に目的とする場所に到着することを可能とするものである。

【0005】

【作用】本発明の装置の入力部に、行きたい場所を住所・郵便番号・電話番号・氏名で指示すると、装置の画像情報表示部に本発明の装置が設置されている場所から案内を求めた場所に至る道路・交通手段が表示されると共に、当該情報は印刷されて案内を求めた人に渡される。

【0006】

【実施例】図1は本発明装置のブロック図であり、図2は斜視図である。以下に図を用いて本発明の実施例について説明する。1は本装置に案内を求める人が自分が行きたい場所の情報を装置に与える為の行き先情報入力部である。1に与える情報は、住所・郵便番号・電話番号・氏名いずれでも良いが、これらの情報はキーボード、タッチパネルなどの入力端末機を用いて容易に行なうことが可能である。2は、本発明の装置に人が案内を求めていることが予想される地域、即ち本装置が設置される場所の周辺地域の地理及び交通情報を記憶させる記憶部である。3は、1及び2からの情報により、装置が設置された場所から人が行きたいと示した場所に至る最適の道、交通手段を探索する案内情報作成部であり、2及び3は通常の計算機を利用して容易にその目的を達成し得る。3が探索した案内情報は、4の画像・文字表示装置で表示されるが、その時3の計算機が探索して定めた案内情報は、5の説明音声発生部に内蔵する音声合成装置で言葉に変換され内蔵のスピーカーで案内を求めた人に説明される。画像・文字情報は、6の印刷物作成部のプリンターにより印刷され、印刷物として人が容易に持ち運び出来る物としても提供される。

【図面の簡単な説明】

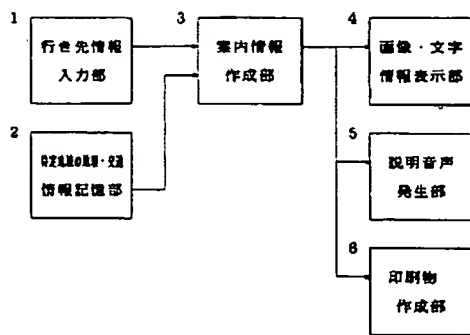
【図1】 本発明のブロック図である。

【図2】 本発明装置の斜視図である。

【符号の説明】

- 1 行き先情報入力部
- 2 特定地域の地理・交通情報記憶部
- 3 案内情報作成部
- 4 画像・文字情報表示部
- 5 説明音声発生部
- 6 印刷物作成部

【図1】



【図2】

